Events 関連イベント

見どころ解説会

［観覧券不要・申込み不要・先着40名］
日時：会期中土曜日 午前10時30分～約20分程度
講師：展覧会担当学芸員　会場：美術館講堂
※7月19日（土）、8月2日（土）、8月16日（土）はイベント等準備のため開催されません。

オリジナルサシェ（ハーブの香り袋）を作ろう！

［当日観覧券必要・申込み不要・無料］
日時：7月26日（土）①午前11時～／②午後1時～
各回先着20名
講師：稲葉美智子（NPOジャパンハーブソサエティー上級インストラクター）
会場：美術館貸展示室

ミュシャのしおりを作ろう！

［申込み不要・無料］
本展覧会の観覧券半券をアップサイクル！しおりとして再利用してみませんか？
日時：7月27日（日）、8月9日（土） 各日午後1時～午後4時まで
会場：美術館貸展示室

尾形寿行氏によるギャラリートーク

［当日観覧券必要・申込み不要］
アルフォンス・ミュシャの世界的コレクター尾形寿行氏によるギャラリートークを開催します。
日時：7月19日（土） ①午前11時～
8月2日（土） ①午前11時～／②午後2時～
8月16日（土） ①午前11時～／②午後2時～
講師：尾形寿行（本展企画協力者）　会場：美術館展示室

色えんぴつで ミュシャらしい配色を表現してみよう！ -ぬり絵体験-

［当日観覧券必要・申込み不要・無料］
日時：8月11日（月・祝）午前11時～
アイテムがなくなり次第終了
講師：色彩イラストレーターえこ 船井里江子
会場：美術館貸展示室

アートと音楽で奏でる「ミュシャ」ナイトミュージアム

Photo：GUV PHOTOGRAPH

［申込み必要・定員：40名］
一夜限定のナイトミュージアムです。貸切の夜の美術館で担当学芸員による解説とミュシャの世界をチェリスト荒井結氏が奏でます。
開催日：7月20日（日）午後6時～午後8時
チェロ演奏者：荒井結
参加費：4000円(展示解説・入館料・ミニコンサート込)
申込先：ミュージアムショップ
もしくはinfo@greenlab.jpまで

※混雑等のため、入場制限を行う場合や中止になる場合があります。※その他の関連イベント等については、ホームページをご覧ください。

チケット料金

区　分	前売り券	当日券	団体
一　般	1,400円	1,700円	1,400円
ペアチケット	2,600円	—	—
高校生	—	1,100円	900円
小・中学生	—	800円	600円

［コンビニ端末］チケットぴあ（Pコード：687-236）、ローソン（Lコード：51685）、
［電子チケット］ ふくアプリデジタルチケット
※前売り券販売期間：2025年6月1日（日）～7月18日（金）まで
※障がい者手帳等をご持参の方とお付き添いの方1名は半額
※高校生は生徒手帳の提示が必要です。
※未就学児は無料
※土日祝日は混雑が予想されます。混雑時には入場を制限させていただく場合がございます。予めご了承ください。

アクセス

■交通のご案内

○バス　JR福井駅西口(6番のりば) からすまいるバス北ルート（田原・文京方面）で約15分「藤島高校前」下車
JR福井駅西口（2番のりば）から京福バス25、26、28系統で約10分「藤島高校前」下車（※26、28系統は平日のみ運行）

○鉄道　えちぜん鉄道福井駅（JR福井駅東口）から三国芦原線で約5分「田原町」下車、徒歩約8分
福井鉄道福井駅（JR福井駅西口）から田原町方面約10分「田原町」下車、徒歩約8分

○タクシー　JR福井駅西口から約8分

○車　北陸自動車道 福井北ICから約15分

※ご来館の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。※お車の際はアイドリングストップにご協力ください。

福井県立美術館
〒910-0017 福井県福井市文京3丁目16-1
TEL 0776-25-0452 FAX 0776-25-0459 https://fukui-kenbi.pref.fukui.lg.jp
※ご来館の際は、最新の開館状況および関連イベント等を当館ホームページにてご確認ください。

全身で絵画を感じる
実物作品×映像体感

ミュシャ展
アール・ヌーヴォーの女神たち

2025 7.19 SAT >>> 8.31 SUN

【開館時間】
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
※7月19日（土）は午前10時～
会期中無休

【観覧料】

一般	1,700円（前売り・団体1,400円）
ペアチケット	2,600円（前売りのみ）
高校生	1,100円（団体900円）
小・中学生	800円（団体600円）

〈前売り券販売〉6月1日（日）～7月18日（金）
［コンビニ端末］
チケットぴあ（Pコード：687-236）、ローソン（Lコード：51685）
［電子チケット］
ふくアプリデジタルチケット

主　催　ミュシャ展福井実行委員会（福井県立美術館、福井新聞社、福井テレビ）
企画制作　アール・ヌーヴォーの女神たち実行委員会
協　力　OGATAコレクション

左から《ジョブ》（部分）1896年、《夢想 シャンプノア》（部分）1897年、《モナコ・モンテ・カルロ》（部分）1897年 すべてアルフォンス・ミュシャ、OGATAコレクション

福井県立美術館
Fukui Fine Arts Museum

映像空間×作品展示
ハイブリッド展覧会

※写真は大阪会場の様子です。

時代を超えて、今もなお愛されるアルフォンス・ミュシャの作品。臨場感のある映像空間と展示作品が同時に楽しめるハイブリッド展覧会が福井に上陸！高精細プロジェクターによる映像空間では、19世紀パリの街並みに飛び込んだような世界観の中を、ミュシャの描いた「女神たち」がダイナミックに躍動します。リアルの作品も充実。花々に彩られた女性が軽やかに舞う商業ポスターや「装飾パネル」をはじめ、図案集や商品パッケージなど、ミュシャが手がけた多様な作品約200点を展示します。本展は、リアルとデジタル両方で“ミュシャを全身で体験できる”ハイブリッド展です。

Immersive 映像空間

いま、みて感じる 動くミュシャ

本展覧会の目玉になる映像空間では大きく2パートで構成しています。前半はミュシャの生涯で大きな転機となったパリ時代の華やかで躍動感のある世界を再現。そして、後半は祖国チェコへの愛を壮大なストーリーで映像化しました。特に人気の高い代表作「ジスモンダ」をはじめ、「モナコ・モンテ-カルロ」、「JOB」、「夢想」などの多くの名作が登場。大画面の映像空間にミュシャが思い描いた作品世界を全身で味わえます。映像内でミュシャが描いた女性達の表情が変化し、生命が吹き込まれたような感動とともに、まるで実際に当時の女性たちに出会ったかのような臨場感をお楽しみください。

イマージブフォトコーナー

会場内に2つの動くフォトコーナーが登場！1つは映像空間内に、もう1つは展示エリアに設置しています。静止画・動画撮影どちらもお楽しみいただけます。ぜひ、お気に入りのワンシーンを撮影してください。

※撮影時は他のお客様へのご配慮をお願いします。

Original Work 作品展示

約200点にも及ぶ人気作品が一堂に!!

世界有数の作品所蔵数を誇るOGATAコレクション協力のもと、約200点の作品を4章の構成にて展示。
時代を経てもなお輝きを増すミュシャの描く女性像に迫ります。

第1章 麗しの女神

ミュシャが描く作品の最大の魅力は、美しい女性表現です。フランスを代表する女優サラ・ベルナールが主演する演劇ポスター「ジスモンダ」を手がけ、一躍脚光を浴びることになりました。魅力的な女性が描かれ、やがてポスターを収集する愛好家まで生まれます。「装飾パネル」というジャンルさえ登場するほどでした。

ジスモンダ
1895年 カラーリトグラフ

ジョブ
1896年 カラーリトグラフ

第2章 暮らしの彩り

豊かな色彩の印刷物はポスターだけにとどまらず、パッケージ・ポストカード・カレンダー・メニューなどに展開され、暮らしを彩るようになりました。商業的な人気だけにとどまらず、パリ万国博覧会で受賞するなど彼の存在は国内外で揺るぎない地位を確立するまでに至りました。

ルフェーブル・ユティル
1896年 カラーリトグラフ

ランス香水
ロドレ 1897年

第3章 スタイルの美

下積み時代から生計をたてるために始めた挿絵の制作は、人気作家となってからも積極的に続けられました。さらに、ミュシャ・スタイルの見本帳とも言うべき「装飾資料集」を手がけ、デザイナーやデザインを学ぶ学生の手引き書として広く流通しました。挿絵の仕事は、ミュシャの晩年まで続くいわばライフワークとして、重要な位置を占めています。

花言葉 1907年 カラーリトグラフ

第4章 祖国と名声

1910年、故郷チェコに移り活動を始めたミュシャは、本来目指していた画家としての活動をはじめます。祖国のために無償で紙幣や切手などを手掛け、さらに地域の催し物や独立を祝うポスターなど祖国とスラヴ民族の発展を願った仕事を多く引き受けました。伝統的な衣装を身にまとった女性たちが多く描かれています。

1918-1928年 独立10周年
1928年 カラーリトグラフ

※写真は大阪会場の様子です。

Who is Mucha?

アルフォンス・ミュシャ（Alfons Mucha1860-1939）

19世紀末から20世紀初頭に花開いたアール・ヌーヴォーの代表的な芸術家。現在のチェコ共和国で生まれ、当時のフランスを代表する女優サラ・ベルナールの演劇ポスターを制作し、一躍著名デザイナーになった。華やかなポスターを手掛ける一方で、祖国チェコやスラヴ民族をテーマにした作品を数多く制作。チェコの文化振興に貢献した。